

診療科研修コース申請書
研修コース名【てんかん専門医コース】

1. 診療科（専門領域）

てんかん診療科（小児科、精神科、脳神経外科）

2. コースの概要

てんかん基礎プログラムの修了希望者を対象とする。

（限定ではない。てんかん基礎プログラムを修了した者と同等とみなされる者でも可能。）

てんかん発展プログラムのすべてを選択すること。

（本人の意向を研修責任者が聴取し、本人との相談で決定する。）

3. 取得資格

学会認定のてんかん専門医の資格取得を目標とする。

4. 長期目標

- ・ てんかんの診断と治療に必要な専門的知識を習得する。
- ・ てんかんの診断を的確に行い、最も適切な治療法を選択し、遂行する能力を身につける。

5. 取得手技

- ・ 小児てんかんの診断、及び治療法。 （小児科）
- ・ てんかん症候群の診断、及び治療法。 （精神科、脳神経外科）
- ・ てんかんの脳波検査手技と判読法の習得。 （小児科、精神科、脳神経外科）
- ・ 各種誘発電位検査の検査手技と評価法。 （小児科、精神科、脳神経外科）
- ・ てんかんの頭部画像診断法の習得。 （小児科、精神科、脳神経外科）
- ・ MEG（脳磁図）検査手技（マッピング）と判読法の習得。
（小児科、精神科、脳神経外科）
- ・ てんかんの薬物治療（向精神薬療法を含む）の習得。 （精神科）
- ・ 脳血管撮影とワダテストの検査手技と判読法の習得。 （脳神経外科，精神科）
- ・ 脳神経外科基本手術手技と術中モニタリングの基本習得。 （脳神経外科）

6. 研修期間

5年間

7. 募集人数

3名（各科1名相当）

8. 診療科の実績と経験目標症例数

症例数と手術件数の調査年度

主要疾患	入院数（年間）				経験目標症例数（5年間）			
	小	精	脳	計	小	精	脳	計
ウエスト症候群	15			15	15			15
症候性全般てんかん	20	10		30	10	25		35
Lennox-gastaut 症候群	3	1		4	5	5		10
ミオクロニー失立てんかん	5			5	10			10
症候性局在関連性てんかん	40	80		120	50	200		250
進行性ミオクロヌステんかん	5	5		10	10	10		20
特発性全般てんかん	10	20		30	15	25		40
未決定てんかん	5			5	10			10
特発性局在関連性てんかん	5			5		10		10
てんかん精神病		20		20		50		50
リハビリを要するてんかん		10		10		25		25
内側側頭葉てんかん			10	10			25	25
新皮質てんかん			10	10			25	25
その他のてんかん			2	2				

手術	件数（年間）				経験目標件数（5年間）			
	小	精	脳	計	小	精	脳	計
硬膜下電極設置術			15	15			50	50
側頭葉切除術			10	10			25	25
焦点切除術			10	10			25	25
脳梁離断術			1	1			5	5

9. 診療科の指導体制

(小児科)

診療科医師数 常勤 4名、非常勤 0名

診療科研修の指導にあたる医師 3名

主として研修指導にあたる医師の氏名 遠山 潤

” 診療科経験年数 23年

(精神科)

診療科医師数 常勤 3名、非常勤 0名

診療科研修の指導にあたる医師 1名

主として研修指導にあたる医師の氏名 笹川 睦男

” 診療科経験年数 30年

(脳神経外科)

診療科医師数 常勤 4名、非常勤 0名

診療科研修の指導にあたる医師 1名

主として研修指導にあたる医師の氏名 増田 浩

” 診療科経験年数 23年

10. コンセプト

- ・てんかん専門領域と関連領域の系統的な研修で、裾野の広い臨床医を育む。
- ・新潟大学との質の高い交流研修を実施し、視野の広い専門性に富む臨床医を育む。
- ・個々の医師の将来に向けた柔軟で明確な研修プログラムを用意する。
- ・医療の質を高める臨床研究を実践する。
- ・学会発表、論文作成に習熟する。

11. 一般目標

- ・日本てんかん学会認定医（臨床専門医）試験に合格出来るだけの専門的知識と技能を習得する。
- ・てんかん専門領域と関連領域の幅広い知識を習得し、てんかん患者の病態の全貌を把握する。
- ・関連診療科と必要な協議をして、的確な治療計画を立案する。
- ・医療安全、患者の人権への配慮、他の職種、患者との意思疎通を図り、安全の医療を実践する。
- ・医学の進歩に伴う生涯学習を実践する。

1 2. 関連領域の研修に関して

施設内での研修 可能 不可

施設外との交流研修 可能 不可

研修領域の決定 本人の意向を研修責任者が聴取し、本人との相談で決定。

1 3. 共通領域研修について

- ・新潟大学脳研究所との交流研修の実施。
- ・週1回、てんかん検討会の開催。
- ・各種セミナーへの参加。
- ・学会、地方会への参加、発表。